

## 単元の評価規準表

<本単元のねらい> 端数部分などを表すのに分数を用いることを知り、分数の意味や表し方を理解する。

単元の評価規準	時	評価場面（方法）	主な評価の観点	努力を要する状況の児童への手立て
<p><b>【算数への関心・意欲・態度】</b> 端数部分の大きさを表すことができる分数のよさがわかり、分数の仕組みに関心をもち、進んで考えていこうとする。</p> <p><b>【数学的な考え方】</b> 分数は単位分数のいくつ分として表せることをもとに、端数部分の大きさの表し方を考えることができる。</p> <p><b>【数量や図形についての表現・処理】</b> 端数部分や等分してできる部分の大きさを、分数を用いて表すことができる。</p> <p><b>【数量や図形についての知識・理解】</b> 分数の表し方と仕組みがわかり、分数のよさがわかる。また、真分数・帯分数・仮分数の意味がわかる。</p>	1	<p>元の丸い1枚のピザから見たn等分を見つける場面（行動・観察）</p> <p>ピザの大きさを書く場面（ノート）</p>	<p>考：元の丸い1枚のピザをn等分したピザの大きさを表すことを考える。</p> <p>関：1よりも小さい大きさを数で表そうとする。</p>	<p>m/nのときのn等分を見つけられない児童には、元の丸いピザになるまでピザを並べていくようにする。</p> <p>1以上の数で表そうとする児童には、1よりも小さくなることを元のピザの大きさと比べて考えさせる。</p>
	2	<p>かさを分数で表す場面（ノート）</p>	<p>表：ジュースやピザづくりを想定した活動を通して、かさや重さの端数部分の大きさを分数で表すことができる。</p>	<p>重さやかさについてn等分が分からない児童には、1kg(または )を囲み、等分の目盛を数えて気づかせていく。</p>
	3	<p>分数表記を考える場面（行動・発言）</p>	<p>考：1/8ピザを8枚以上集めたときの大きさを表す方法として分数表記を生かして考える。</p> <p>知：1/8ピザを8枚以上集めたときの大きさの表し方として仮分数を理解する。</p>	<p>12/8を12/16とする児童には、1枚以上なのに、それより小さくなっていることを絵に表して気づかせていく。</p> <p>12/8が8/12となる児童には、1/8ピザを操作していく中で分母は変わらないことに気づかせていく。</p>

4	ピザの大きさを帯分数で表す場面 (ノート)	知：1/8 ピザを8枚以上集めたときの大きさのもう一つの表し方として帯分数を理解する。	整数部分を表せない児童には、1/8 ピザ8枚を元のピザの形に並べさせたり分母に着目させたりして、1のまとまりを作らせることにより、分数の特徴を整理して理解させる。
5	分数を真分や仮分数や帯分数に分類する場面 (観察・ノート)	知：1/8 ピザを単位分数として、分数の構成を理解したり、分数を真分数や仮分数や帯分数に分類することができる。	真分数や仮分数や帯分数に分類できない児童には、自分自身の混乱しやすい分数の特徴に気づかせていきたい。
6	分数を数直線上に表し、分数の大きさを比べる場面 (発言・ノート)	知：分数を数直線上に表し、分数の大きさを比べたりすることができる。	大小比較の難しい児童には、単位分数の数を数える活動を通して気づかせる。
7	1枚以上のピザの大きさを帯分数と仮分数で表す場面 (発言、ノート)	表：1/8 ピザ8枚以上の大きさを帯分数と仮分数の双方で表したり換算したりできる。	換算のときに乗除が逆になる児童には、1枚と5/8枚のピザの形から単位分数の数え方を考え、整数部分と分母の積に分子の数をたすことの意味を気づかせる。。
8	端数部分などを表すのに分数を用いて、分数に表す場面 (発言、ノート)	知：分数を振り返り、練習問題をして理解を深める。	練習問題の中で苦手なところを見つけた児童には、これまでの学習をノートで振り返らせ、既習内容と結びつけて解決の手立てを見つけてさせる。